

# 下水道使用料体系に関するについて

---

第3回 真岡市公共料金審議会

真岡市上下水道部

# 下水道使用料体系

公共下水道使用料体系表			(税込)
区分	使用料		
基本使用料	一般用	10m <sup>3</sup> まで	1,320円
	公衆浴場用	200m <sup>3</sup> まで	11,000円
	臨時用	—	—
従量使用料 (1m <sup>3</sup> あたり)	一般用	11m <sup>3</sup> 以上20m <sup>3</sup> まで	143円
		21m <sup>3</sup> 以上30m <sup>3</sup> まで	154円
		31m <sup>3</sup> 以上50m <sup>3</sup> まで	165円
		51m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> まで	176円
		101m <sup>3</sup> 以上	187円
	公衆浴場用	201m <sup>3</sup> 以上	55円
	臨時用	—	176円

※自家水(井戸水)のみを使用している場合  
世帯員1人につき6m<sup>3</sup>/月で計算  
※上水道と自家水(井戸水)を併用している場合  
世帯員1人につき3m<sup>3</sup>/月を加算

農業集落排水使用料体系表(真岡地区)			(税込)
区分	使用料		
基本使用料	一般用	10m <sup>3</sup> まで	1,320円
	公衆浴場用	200m <sup>3</sup> まで	11,000円
	臨時用	—	—
従量使用料 (1m <sup>3</sup> あたり)	一般用	11m <sup>3</sup> 以上20m <sup>3</sup> まで	143円
		21m <sup>3</sup> 以上30m <sup>3</sup> まで	154円
		31m <sup>3</sup> 以上50m <sup>3</sup> まで	165円
		51m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> まで	176円
		101m <sup>3</sup> 以上	187円
	公衆浴場用	201m <sup>3</sup> 以上	55円
	臨時用	—	176円

農業集落排水使用料体系表(二宮地区)			(税込)
区分	使用料		
世帯割	—		2,094円
人数割	世帯員1人あたり		523円

# 公衆浴場用の使用料について

料金表(税抜)

(円)

	現行	パターン1	パターン2	パターン3
		21.9%	28.1%	38.7%
基本使用料(200m <sup>3</sup> まで)	10,000	12,190	12,810	13,870
差額		2,190	2,810	3,870
従量使用料(201m <sup>3</sup> 以上／1m <sup>3</sup> あたり)	50	61	64	69
差額		11	14	19

5,000m<sup>3</sup>使用した場合の月使用料(税込)

(円)

現行	パターン1	パターン2	パターン3
	21.9%	28.1%	38.7%
275,000	335,489	352,011	379,577
差額	60,489	77,011	104,577

# 臨時用の使用料について

現行 基本使用料 なし  
従量使用料  $1\text{ m}^3$ あたり 1 7 6 円



**改定（案） 臨時用の使用料を廃止**

これまで使用実績がないことから、通常の料金表によるものとする

# 自家水（井戸水）使用者の1人あたりの使用量について

現行 1人につき1カ月 $6\text{ m}^3$  ⇒ 改定（案） 1人につき1カ月 $8\text{ m}^3$   
（水道併用の場合 $3\text{ m}^3$ 加算） （水道併用の場合 $4\text{ m}^3$ 加算）

真岡市下水道事業会計 令和6年度決算より			
	公共下水	農業集落排水	計
有収水量	4,960,214	700,501	5,660,715
水洗化人口	47,892	6,251	54,143
1人当たりの月使用量	8.6	9.3	8.7
東京都水道局「令和2年度生活用水実態調査」1人の1カ月平均使用料 $8.1\text{ m}^3$			
県内他市 自家水（井戸水）の場合の1人当たりの使用量（ $\text{m}^3$ ）			
宇都宮市	7	真岡市	6
足利市（1件）	20	大田原市	7
栃木市	9	矢板市	7
佐野市	7	那須塩原市	7
鹿沼市	7	さくら市	7
日光市	8	那須烏山市	7
小山市	7	下野市	7